



## 絵本から飛び出したおやつ



～あらすじ～

おいもは、土の中で暮らしています。ご飯も食べるし、歯も磨く、トイレにも行くし、お風呂にも入り、みんなでトレーニングもしています。さあ、子どもたちとおいもたちのつなひきです。スッポーン！とおいもが抜けて、「わたしたちの負けてくれます。」…

でも、これで終わりじゃありませんよ。（参考：絵本ナビ）

今回の絵本は、日頃から読んでもらっている絵本だったので、3歳未満児クラスの子どもたちも親しみを持って聞いてくれました。芋を掘るシーンでは、みんなでお決まりのように「うんとこしょ！どっこいしょ！」と掛け声と共に引っ張る動作をしながら楽しく読み聞かせができました。

おやつ“ふかし芋”を目の前にすると「さつまのお芋だね。」という子どももいて、楽しいおやつ時間が過ごせました。また、年長児では、話の流れも分かっており、読み終えた後に、ふかし芋を想像しながら、その絵を描き、食べるときに自分の描いた絵と見比べながら、「やったー！全く一緒やった。」と喜んで食べている姿も見られました。更に、芋を食べたらおならが出るという内容だったので、おならの話で盛り上がっているクラスもあり、実際にみんなの前でおならをする子もいて、みんなで大笑いでした。



## おやつのケーキ作りに挑戦！

クリスマス会のおやつは、鹿島市の食改協さんの協力のもと、ケーキ作りに挑戦しました。3歳以上児は、自分たちでホイップクリームとイチゴ、刻みチョコをトッピングしてもらいました。ホイップを絞るときは、失敗しないように慎重にやってみたり、力加減が難しく、食改協の方や職員から手伝ってもらいながら一緒に絞ったりしました。イチゴは、自分たちの好きなようにトッピングしてもらいましたが、イチゴを綺麗に立たせている子やイチゴの赤が綺麗に見えるように工夫しながら、みんな上手に作る事が出来ました。



自分たちで作ったケーキは、おいしかったようで、ペロリと食べてしまい「お替わりは、無いと？」聞く子もいましたが、「残念ながら、今日はお替わりありません。でも、ホイップはあるかも！」と言うと、ホイップだけをお替わりしている子もいました。また、年長児の女の子の中には、食べ終わった後、「おいしかった！幸せ～」とおやつを満喫できた嬉しい一言も聞かれました。



## ～年長児の食育～

今月は、先月の引き続きで、食材釣りゲームをしました。2グループに分けて食に関するクイズを出し、その答えを釣ってもらうというルールで行いました。釣るのもなかなか難しく、子どもたちは一生懸命ワイヤーの穴にフックを掛けていました。釣った後はみんなで答え合わせをし、食育をゲームとして楽しみました。

